



文責 本宮小校長 佐久間仁

遠足 楽しいな川

《子どもたちの作文》



えんそくで、みんなでバスにのって、はじめてコミュニティに行きました。

すなあそびをしたり、紙しばいを読んでもらったりしました。それから、とびたねを教えてもらいながらつくりました。いろいろなことを体けんできたので、とてもたのしかったです。つなみやじしんのことを知って、自分の近くでおこったら、とてもこわいなと思いました。

コミュニティはたくさんの方を学べて、ばんきょうになりました。(まつ田かれん)

おととい、二年生のみんで、遠足に行きました。バスにのって、

コミュニティふくしまに行きました。バスには、一時間目より少しみじかい時間のつていました。

コミュニティでは、わたしは三はんなので、一日みゆき先生とすごしました。コミュニティには、シアターやたいけんできるところがあり、一ばんたのしかったのがシアターでした。シアターでは、じしんの話をいっぱい聞きました。じしんのがそうを見て、じしんはんなにこわかったんだと思いました。見ただけでいっぱいいつたわりました。

また、家そくでコミュニティに行きたいです。(田むらゆうな)



学 校運営協議会



九月二十四日に、今年度二回目の学校運営協議会を行いました。

今回は、十一月に実施する六年生の防災教室・ワークショップ（避難所体験）について協議しました。講師をお務めいただく、本宮市防

災対策課の地域防災マネージャー小齋広志様から、活動の内容や進め方について説明を聞きました。委員から活動に関する質問やご意見をいただきました。いざというときの行動の仕方を学ぶよい機会にしていきたいと思えます。委員の皆様、よろしくお願ひします。

《説明》

○講話 資料に基づく学習（自助・共助・公助について ほか）

○避難所体験 説明、資料の組み立て（パーテーション、段ボールベッドなど）、まとめ（感想など）

○片付け（解体・運搬）委員、防災対策課職員、教職員で実施

《質疑応答》

Q 資料の組み立ては？

A 全てのグループでパーテーション、段ボールベッドを組み立てる。防災対策課職員で見本となるものを作るので、参考にしてほしい。

Q どのくらいの時間を要するか？

A パーテーションは、基本的に広げるだけなので短時間でできる。段ボールベッドも分担して作れば、そんなに時間はかからない。出来上がったら、体験の時間にしたい。

Q 委員の役目は？

A パーテーションは高いので、大人でないと届かない所がある。そういうときは手伝ってほしい。あとは、基本的に子どもたちの活

動を見守ってほしい。手の空いた子には仕事を分担するなど、コーディネーター役に徹してほしい。

Q 委員の参加は？

A 講話から参加いただける方は、子どもたちと一緒に話を聞いてほしい。避難所体験からの参加も可能。後ほど、当日の出欠を確認させていただきます。参加できる方で当日の分担をさせていただきます。

Q 学校の防災関連の取組は？

A 今回初めて防災教室・ワークショップを実施する。次年度以降も継続して、子どもたちが経験を積んで中学校に進めるようにしたい。

《ふりかえり》

宗像会長

・いざというときのことは日ごろから考えているつもりだが、実際その場になってみると、慌ててしまい、何をすればいいかわからなくなってしまうことがある。

・子どものうちからこのような経験を積んでおくことで、将来いざというときに慌てずに対応できる力が養われると思う。

・皆様のご協力をお願いしたい。

